

六年前、もし誰かが私に「君はいつか日本に住むことになるよ。」と言ってきたら、その人のことをおかしい人だと思ったでしょう。なぜならその時私は、日本で生活するなど夢にも思っていなかったからです。

多くの人たちが私の日本行きの決断に懐疑的でした。彼らは口々にこう言いました。「日本の文化は独特過ぎて君には合わないだろうし、行かないほうがいいよ。」「今の仕事を辞めてまで、どうして英語を教えに行くの?」「日本へ行って何が得られるの?」「大きなリスクだよ。」

そして今、日本での生活で多くのことを学び、来た時よりも一回り大きくなって私は日本を離れます。少年としてやってきて、大人になって日本を去るのです。日本の文化は私にとって非常にユニークでした。目標が同じでも、そこに到達するためには様々なアプローチの仕方があるのだということを、私はここで学びました。自分とやり方が違うからといってそれが間違っているわけではないのです。日本の生徒は規律正しく、暖かい心を持っています。外国語を学ぶことは、特にそれが義務であると、決して簡単なことではありません。もし外国語の教師がイギリスにやってきたとしても、イギリスの生徒たちは全くやる気を見せないと思います。しかし、多くの日本の生徒たちは英語学習に熱心に取り組んでくれました。

日本にずっといることは簡単です。しかし人生の新たな 1 ページをめくる時がやってきました。自分の夢を追いかける時がやってきたのです。それは、日本、イギリス、ガーナ、南アフリカ間で貿易会社を始めることです。決してたやすいことではありませんが、自分の夢を実現させるためにベストをつくします。

最後に、皆さんの素晴らしいおもてなしの心、特に私のために時間を割いてくださった先生方に感謝申し上げます。皆さんの人生に幸福を祈り、これからも素晴らしい仕事を続けていかれることを期待しています。

どこへ行っても、日本はいつも私の心の中にあります。